



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 サンコール株式会社

上場取引所 東

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山主 千尋

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 業務・管理部門長 (氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,183	11.5	402	19.3	611	663.8	433	
29年3月期第1四半期	9,137	1.6	499	29.0	80	90.8	0	99.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 479百万円 (%) 29年3月期第1四半期 744百万円 (203.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.66	13.52
29年3月期第1四半期	0.01	0.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	46,475	33,037	70.8	1,035.12
29年3月期	45,296	32,874	72.3	1,030.71

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 32,903百万円 29年3月期 32,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		8.00		10.00	18.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		8.00		10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,400	4.5	950	18.7	950	111.1	700	233.4	22.04
通期	41,500	9.3	2,700	20.0	2,600	49.9	2,000	82.9	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	34,057,923 株	29年3月期	34,057,923 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,271,276 株	29年3月期	2,297,476 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	31,767,659 株	29年3月期1Q	31,741,751 株

(注)自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。
(自己株式数 30年3月期1Q 488,800株 29年3月期 500,000株)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《全般的概要》

[経営及び事業環境]

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が続くなか、個人消費が持ち直すなど、総じて緩やかな回復基調となりました。

世界経済では、欧米においては堅調な個人消費や設備投資の改善を中心に底堅く推移しました。中国では各種政策効果もあり緩やかな成長を維持し、またその他アジア地域では世界的な景気回復を背景に輸出が拡大しました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、国内市場では軽自動車需要の回復や普通自動車の新型車効果などにより販売台数は前年を上回りました。米国及び中国では、SUVなど特定車種の販売は依然高い伸び率を維持しましたが、全体としては減速感が強まりました。

[連結業績]

このような環境の下、当社グループの売上高は自動車分野では主にエンジン用部品が日本を含むアジアで伸長し、HDD用サスペンションでは記録容量の高密度化に対応した新モデルが前年を大きく上回った結果、101億83百万円（前年同期間比11.5%増）となりました。

利益面では、米国及びメキシコ子会社での生産性改善遅れや、HDD用サスペンションでの新モデルの増産ライン立ち上げなどがコスト増加要因となり、営業利益は4億2百万円（同19.3%減）となりました。経常利益は為替環境の改善などにより6億11百万円（同663.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億33百万円（前年同期間は0百万円の四半期純利益）と前年を上回りました。

《セグメントの業績》

[日本]

日本セグメントにおいては、弁ばね用鋼材がグローバル生産体制の推進のもと、メキシコ子会社の量産稼働に伴い北米市場向けが大きく減少したものの、自動車関連製品では弁ばねやミッション用ばねを中心に好調に推移しました。またHDD用サスペンションでは既存製品は減少しましたが、新製品は大幅な増加となりました。

その結果、セグメント売上高は68億81百万円（前年同期間比1.5%増）、セグメント利益は4億91百万円（同8.0%増）となりました。

[北米]

北米セグメントにおいては、米国自動車市場の減速に伴い米国子会社での自動車関連製品の販売は前年を下回り、通信関連についても低調に推移しました。一方、メキシコ子会社では弁ばね用鋼材やリングギアの販売を前年の第2四半期から開始しているため、北米セグメント全体の売上高は14億30百万円（前年同期間比10.1%増）となりました。

しかし、米国子会社では恒常的な人員不足等による生産性改善遅れや営業力強化のための新事務所の設立などによりコストが増加し、メキシコ子会社でも原価低減が遅れた結果、セグメント損失は2億2百万円（前年同期間は33百万円のセグメント損失）となりました。

[アジア]

アジアセグメントにおいては、通信関連では米国市場向け販売が低調となりましたが、前年に大きく低迷したプリンター関連の販売は一部製品を除いて持ち直しました。また弁ばね用鋼材については順調な販売となり、中国、タイでは自動車エンジン用部品の販売も好調を維持し前年を上回りました。

その結果、セグメント売上高は23億64百万円（前年同期間比7.6%増）、セグメント利益は3億5百万円（同8.9%増）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日		自平成29年4月1日 至平成29年6月30日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
自動車分野	百万円 6,705	% 73.3	百万円 7,266	% 71.3	百万円 560	% 8.4
材料関連製品	1,045	11.4	1,142	11.2	97	9.3
自動車関連製品	5,660	61.9	6,123	60.1	463	8.2
電子情報通信分野	2,268	24.9	2,780	27.4	512	22.6
HDD用サスペンション	1,170	12.8	1,635	16.1	465	39.8
プリンター関連	791	8.7	854	8.4	63	8.0
通信関連	306	3.4	290	2.9	△16	△5.4
その他製品	163	1.8	137	1.3	△26	△16.2
合計	9,137	100.0	10,183	100.0	1,046	11.5

(注) 当期より製品区分はホームページや会社カタログ等との統一を図るため上記表中の名称に変更しております。
 なお、旧名称と上記表中名称の製品カテゴリーは概ね一致しておりますが、一部の製品については区分変更して
 いますので、上記金額は変更後にて記載しております。

(自動車分野)

[材料関連製品]

材料関連製品は、弁ばね用鋼材のグローバル生産体制の推進に伴いメキシコや中国での販売が増加したほか、欧州市場向けの輸出版売が伸びたことや精密異形線も堅調だったことから、売上高は11億42百万円（前年同期間比9.3%増）となりました。

[自動車関連製品]

自動車関連製品は、米国市場の減速の影響を受けたものの、日本国内及び中国、タイにおけるミッションやエンジン用部品が好調を維持し、売上高は61億23百万円（前年同期間比8.2%増）となりました。

(電子情報通信分野)

[HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、サーバ向けの新モデルの販売が前年後半から引き続き高い水準を維持し、売上高は16億35百万円（前年同期間比39.8%増）と大幅な増収となりました。

[プリンター関連]

プリンター関連は、タイでの事務機器用シャフトの販売が前年を下回りましたが、中国における樹脂コートTUBシャフトの販売が堅調に推移したことにより、売上高は8億54百万円（前年同期間比8.0%増）となりました。

[通信関連]

通信関連は、中国での販売は底堅く推移しましたが、米国では一部顧客向け販売を除いては総じて低調となり、売上高は2億90百万円（前年同期間比5.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

総資産は464億75百万円(前連結会計年度末比11億79百万円増)となりました。これは主に、投資有価証券が株価上昇により2億52百万円、設備投資により有形固定資産が2億60百万円、また借入等により現金及び預金が6億67百万円増加したことによります。

[負債]

負債は134億38百万円(前連結会計年度末比10億16百万円増)となりました。これは主に、為替リスク低減のため関係会社間資金貸借取引を外部借入に切り替えたこと等により借入金が増加したことによります。

[純資産]

純資産は330億37百万円(前連結会計年度末比1億62百万円増)となりました。これは主に、配当支払により利益剰余金が3億22百万円、為替換算調整勘定が1億30百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により4億33百万円、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が1億77百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,865	8,533
受取手形及び売掛金	8,470	8,706
商品及び製品	1,604	1,471
仕掛品	1,655	1,619
原材料及び貯蔵品	1,697	1,788
その他	1,106	951
流動資産合計	22,401	23,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,015	4,998
機械装置及び運搬具(純額)	7,853	7,604
その他(純額)	3,964	4,491
有形固定資産合計	16,833	17,094
無形固定資産	351	336
投資その他の資産		
投資有価証券	4,908	5,160
その他	801	814
投資その他の資産合計	5,709	5,974
固定資産合計	22,895	23,404
資産合計	45,296	46,475
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,518	4,726
短期借入金	83	273
1年内返済予定の長期借入金	99	310
未払法人税等	378	169
役員賞与引当金	—	5
賞与引当金	398	217
その他	3,680	3,805
流動負債合計	9,158	9,508
固定負債		
長期借入金	1,398	2,027
退職給付に係る負債	819	820
その他	1,045	1,081
固定負債合計	3,263	3,930
負債合計	12,422	13,438

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,830	2,829
利益剰余金	23,815	23,926
自己株式	△970	△958
株主資本合計	30,483	30,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,294	2,471
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△83	△214
退職給付に係る調整累計額	38	40
その他の包括利益累計額合計	2,252	2,297
新株予約権	138	134
純資産合計	32,874	33,037
負債純資産合計	45,296	46,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,137	10,183
売上原価	7,492	8,581
売上総利益	1,645	1,602
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	212	168
報酬及び給料手当	305	312
役員賞与引当金繰入額	5	5
賞与引当金繰入額	48	38
退職給付費用	22	21
その他	551	653
販売費及び一般管理費合計	1,146	1,200
営業利益	499	402
営業外収益		
受取配当金	57	60
物品売却益	13	26
為替差益	—	128
その他	35	27
営業外収益合計	106	242
営業外費用		
支払利息	9	22
持分法による投資損失	22	2
為替差損	487	—
その他	6	8
営業外費用合計	525	33
経常利益	80	611
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	77	609
法人税、住民税及び事業税	90	150
法人税等調整額	△13	25
法人税等合計	76	175
四半期純利益	0	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	0	433

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	0	433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	177
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	△405	△130
退職給付に係る調整額	4	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	0
その他の包括利益合計	△744	45
四半期包括利益	△744	479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△744	479
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)

前連結会計年度より、関連会社HS POWER SPRING MEXICO, S. A. de C. V. は、親会社株主に帰属する当期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）が連結財務諸表に及ぼす影響に重要性が増したため持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5,793	1,298	2,045	9,137	—	9,137
セグメント間の内部売上高又は 振替高	987	0	153	1,141	△1,141	—
計	6,781	1,298	2,198	10,278	△1,141	9,137
セグメント利益又は損失 (△)	455	△33	280	702	△203	499

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,482	1,430	2,270	10,183	—	10,183
セグメント間の内部売上高又は 振替高	398	—	94	492	△492	—
計	6,881	1,430	2,364	10,676	△492	10,183
セグメント利益又は損失 (△)	491	△202	305	594	△191	402

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△191百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△208百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,290	1,190	1,037	1,626	5,145
II 連結売上高(百万円)					9,137
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.1	13.0	11.4	17.8	56.3

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,177	1,611	1,276	1,756	5,821
II 連結売上高(百万円)					10,183
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.6	15.8	12.5	17.3	57.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、
シンガポール、ブラジル、メキシコ、ドイツ、スイス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。